

## 今週（3月14日から3月18日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期間が切り替わる週となった。週を通して堅調に調達する先が多く見られ、新しい積み期間に入った後もレートは高止まりが続いた。14日、15日は積みの最終調整に向けた動きが見られる中、調達側は地銀・証券業態を中心に▲0.015～▲0.001%、都銀・信託業態の調達レートは▲0.03～▲0.015%となった。新しい積み期間に入った16日の調達レートは▲0.035～▲0.001%と、僅かに低下したものの、依然として高いレートで推移した。強い調達需要を背景に、17日の調達レートは▲0.015～▲0.001%へ上昇した。18日は週末4日積みという要因も加わり、調達レンジは▲0.01～▲0.001%と一層高い水準で推移した。

ターム物に関しては、1、2Wのショートターム物を中心に▲0.01～▲0.005%の水準で引き合いが散見されていたが、足元金利の上昇を受けて▲0.005～▲0.001%へ上昇した。日銀当座預金残高は、週を通して530兆円台前半で推移した。3月17日～18日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.085～▲0.075%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、5年140～150、10年350～365、20年170～179、30年60～73、40年9～14などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、2年債や5年債の金利上昇が意識され、1Y物を中心にやや軟調なマーケットとなった。

15日に実施された短国買入オペは、前回から5,000億円増額の1兆円でオファーされ、弱めの結果となった。

16日に実施された1Y物の入札は、弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。

17日に実施された3M物の入札は、やや弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、五・十日発行の前倒し、後倒し発行にあたる18日、22日発行を中心に石油、機械業態等が複数の業態がまとまった発行を実施した。発行・償還額はともに1兆円強と、ほぼ同規模であった。市場残高は26兆円台前半での推移となっており、年度末を控えて先週からやや減少している。発行レートに関しては、新型コロナオペの担保需要から引き続き玉確保ニーズは堅調であり、マイナス圏での決着が中心となっている。ただ、金利の先高感や前回のCP等買入オペの結果を受けてか、銘柄毎の差は大きいものの、ロングタームの案件を中心に弱含む展開が目立った。

### ●短期金融市場関連指標

|          | 日経平均 (円)  | 新発10年物<br>国債利回り (%) | 為替<br>(ドル/円中心相場) | 無担保コールO/N<br>(加重平均・%) | 東京レポレート(翌日物・<br>T+1スタート・%) | 日銀当座預金残高<br>(億円) |
|----------|-----------|---------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 3/14 (月) | 25,307.85 | 0.190               | 117.58           | △ 0.011               | △ 0.085                    | 5,325,000        |
| 3/15 (火) | 25,346.48 | 0.205               | 118.23           | △ 0.008               | △ 0.085                    | 5,327,500        |
| 3/16 (水) | 25,762.01 | 0.200               | 118.39           | △ 0.013               | △ 0.085                    | 5,315,400        |
| 3/17 (木) | 26,652.89 | 0.200               | 118.97           | △ 0.009               | △ 0.085                    | 5,327,200        |
| 3/18 (金) | 26,827.43 | 0.205               | 118.68           | △ 0.006               | △ 0.083                    | 5,340,100        |

## 来週（3月22日から3月25日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|          | 国内主要経済指標  | 国債等入札予定                    |                            |  | 海外主要経済指標                      |
|----------|---|----------------------------|----------------------------|--|-------------------------------|
| 3/21 (月) | 春分の日  |                            |                            |  |                               |
| 3/22 (火) |   |                            |                            |  |                               |
| 3/23 (水) | 1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)                                |                            |                            |  | 2月の米新築一戸建て販売件数<br>2月の英消費者物価指数 |
| 3/24 (木) | 金融政策決定会合議事要旨(1月17・18日分 8:50)                            | TB6M<br>34,000億円<br>3/25発行 | 流動性供給<br>4,000億円<br>3/25発行 |  | 2月の米耐久財新規受注                   |
| 3/25 (金) | 3月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)<br>2月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) | TB3M<br>57,000億円<br>3/28発行 |                            |  |                               |

### ●資金需給予想

| 単位：億円    | 銀行券要因   | 財政等要因   | 資金過不足   | オペ種類         | 期日分          | 新規実行分 | オペ合計  | 実質過不足   | 需給要因  |
|----------|---------|---------|---------|--------------|--------------|-------|-------|---------|---|
| 3/21 (月) | 春分の日    |         |         |              |              |       |       |         |   |
| 3/22 (火) | 100     | 63,100  | 63,200  | CP買入<br>国債補完 | ▲ 600<br>200 |       | ▲ 400 | 62,800  | 国債利払い・大量償還<br>TB3M発行▲57000償還43000<br>TB1Y発行▲35000償還13200<br>5Y償還7000<br>10Y償還50000<br>20Y償還7000<br>エネルギー対策借入▲5300期日6500 |
| 3/23 (水) | 0       | 1,000   | 1,000   |              |              |       | 0     | 1,000   |   |
| 3/24 (木) | ▲ 1,000 | ▲ 2,000 | ▲ 3,000 |              |              |       | 0     | ▲ 3,000 |   |
| 3/25 (金) | ▲ 1,000 | 41,000  | 40,000  |              |              |       | 0     | 40,000  | 特別交付税<br>年度末融資<br>TB6M発行▲34000償還34000<br>流動性供給▲4000   |
| 週間合計     | ▲ 1,900 | 103,100 | 101,200 | —            | ▲ 400        | 0     | ▲ 400 | 100,800 |   |

3/22は日銀予想、3/23以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積みの序盤ながらも高止まりで推移するO/N物や期末越え物を中心にその動向が注目される。また25日に新型コロナオペが実施予定となっている。「制度融資分」に高いインセンティブを与えられる最後のオペということもあって、どの程度の応札が集まるか注目される。レポ市場は、GC T/Nは、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、GC O/N物のレートは▲0.085～▲0.075%近辺で推移することが見込まれる。短国市場は、24日に6M物、25日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。23日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は、年度末を目前に控えての事業法人の発行動向が注目される。また、新型コロナオペの担保需要が徐々に剥落していくと想定されることから、発行レートの動向が注目される。

主要なイベントは、海外では23日に2月の英消費者物価指数が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。